

公益社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 2018 年度（平成 30 年度） 第 1 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日 時	2018 年（平成 30 年）4 月 20 日（金）14:00-17:00	場 所	地盤工学会
-----	---------------------------------------	-----	-------

出席者	資料 番号	配 付 資 料
部長* 仙頭 紀明 ○	30.1.0	平成 29 年度 [2017 年度] 第 5 回基準部会議事録（案）
理事* 堀越 研一 ○	30.1.1	平成 30 年度（2018 年度） 予算、2017 年度決算
幹事 峯岸 邦夫 ○	30.1.2	予算執行状況、書籍売上・在庫数
部員 浅田 素之 ○	30.1.3	「地盤工学会誌」平成 31 年 2 月号 特集号テーマ 企画趣意書 構成案
部員 伊貝 聡司 ○	30.1.4	基準コンテンツの電子化・DL 販売の検討
部員 海野 寿康 ○	30.1.5	室内試験規格・基準委員会
部員 小早川博亮 ×	30.1.6	JIS 原案作成委員会（赤本 17 規格）構成（本委員会のみ）、同（ジオシンセティックス用語）
部員 肴倉 宏史 ×	30.1.7	地盤調査規格・基準委員会 2018 年度構成
部員 佐藤 毅 ×	30.1.8	経産省受託 WG 2018 年度構成
部員 武政 学 ○	30.1.9	ISO 国内委員会・国内専門委員会 2018 年度構成
部員* 中村 貴久 ×	30.1.10	地盤設計・施工基準検討委員会 2018 年度構成
部員* 平井 貴雄 ×	30.1.11	表記法委員会 2018 年度構成
部員 藤原 照幸 ○	30.1.12	技能試験実施委員会 2018 年度構成
部員 佐野 浩一 ○	30.1.13	新規基準案「軟岩の変形特性を求めるための繰返し三軸試験方法（案）」
部員* 吉田 敬 ×	30.1.14	新規基準案「岩石の供試体の作製方法（案）」
※ 中川 直 ×	30.1.15	「スウェーデン式サウンディング試験方法 JIS 改正 WG」設立趣意書
※(英訳 委員長)	30.1.16	地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法の英訳
※(副会 長)	30.1.17	杭の鉛直載荷試験基準改訂WG 設立趣意書および WG 構成案
	30.1.18	地盤工学会基準英訳事業の終了報告と今後の課題（案）、英訳事業収支、
	30.1.19	英語版 HP
事務局 齋藤／長尾 ○	30.1.20	理事会議事録（2018/3/16）
	30.1.21	経産省受託事業 成果・実績報告書（TC190/SC3/WG10 運営 WG）
	30.1.22	経産省受託事業 成果・実績報告書（広域地盤特性 WG）
	30.1.23	TC190SC3WG10 運営 WG「広域における地盤工学特性の評価手法に関する国際標準化」提案書
	30.1.24	「単位の表記方法」について（3/8 質問に対する回答）
	30.1.25	地盤の物性を評するためのプレッシャーメーター試験方法についての問合せ
	30.1.26	技能試験委員会・幹事会(4/9)の議事録
	30.1.27	技能試験報告書（PDF）の学会・基準部 HP への掲載
	30.1.28	室内試験関係日本工業規格（JIS）の改正への意見に対する検討結果の報告<案>
	30.1.29	JIS 規格改正素案（1217, 1218, 1227）

※オブザーバー  
 \*：本年度新任  
 ◎：代理出席  
 ○：出席予定  
 ×：欠席予定  
 ☆：出席（電子会議）  
 △：未定

## 審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料—30.5.0, pp.1-6)

峯岸幹事より、資料に基づき説明がなされ、すでにメールで送信しているため再度一読頂き、訂正等がある場合は部会終了までに申し出ることになっていたが、特に異論なしで承認された。
2. 全体関係
  - (1) 平成30年度(2018年度) 予算、2017年度決算 (資料—30.5.1, p.7)

仙頭部長より、資料に基づき2018年度予算について説明がなされ、確認された。また、齋藤事務局員より2017年度の決算について説明がなされ、確認された。また、出版物の最終的な売上げは約2100万円程度になることが報告された。
  - (2) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料—30.5.2, pp.8-10)

齋藤事務局員より、資料に基づき2018年度の予算執行状況、書籍売上・在庫数について説明がなされ、確認された。なお、委員会内でのWGへの予算配分については、親委員会で決定し、事務局にもその旨を報告するとともに、収支を管理することになった。
  - (3) 地盤工学会誌 特集号(平成31年2月) について (資料—30.5.3, pp.11-13)

仙頭部長より、資料に基づき学会誌特集号(平成31年2月号)について説明がなされ、審議の結果、下記の目次案になった。また、執筆担当者については一部候補者が挙がっていたが継続審議となった。  
総論：基準部長  
論説：国際基準との整合性(木幡先生 or 松井先生)、国内基準について(豊田先生)  
報告：室内試験、地盤調査、地盤工学用語(伊貝部員、大島先生)、環境関連(肴倉部員)、杭・アンカー・施工関係(平井部員に相談)、基準の英訳化(竹下先生)、建築系基準(藤井先生に相談)
  - (4) 基準コンテンツ電子化検討WG(仮)の設立 (資料—30.5.4, p.14)

仙頭部長より、資料に基づき基準部コンテンツ電子化検討WGについて説明がなされ、審議の結果、堀越理事、海野部員、佐藤部員、藤原部員で活動することになった。なお、セキュリティ等については部会ではなく学会全体で検討すべきとの意見が出された。
  - (-) その他  
特になし
3. 委員等の異動【理事会報告】\*招請委員は理事会審議
  - (1) 室内試験規格・基準委員会 (資料—30.5.5, pp.15-25)
    - ① 2018年度構成  
仙頭部長より、資料に基づき2018年度の各WG及び委員会の構成案について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。
    - ② JIS原案作成委員会 (資料—30.5.6, pp.26-28)

—赤本17規格\*メール審議済み

      - ・赤本改訂に伴い、17のJIS規格を改正するため、5つの原案作成委員会を設置。
      - ・原案作成委員会は本委員会と分科会から成り、本委員会は5つの原案作成委員会に共通。
      - ・日本規格協会からの招請委員1名 下里 猛昌(日本規格協会)は兼任。\*4月理事会提出済み
      - ・本委員会委員は室内試験規格・基準委員会委員+部員2名+JSA招請委員で構成
      - ・分科会委員は室内委員会のWGメンバー+JSA招請委員で構成

—ジオシンセティック用語 [JSA共同原案作成事業]
  - (2) 地盤調査規格・基準委員会 (資料—30.5.7, pp.29-32)
    - ①2018年度構成  
武政部員より、資料に基づき2018年度の各WG及び委員会の構成案について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。  
交代: 委員・WG2幹事 中野 義仁(株式会社興和)→新任・橘 久生(興亜開発株式会社)  
: 委員・WG4幹事 平林 弘(東亜建設工業株式会社)→新任・三枝 弘幸(同)  
追加: WG15メンバー 西山 竜朗(岐阜大学)、清木 隆文(宇都宮大学)
  - (3) ISO国内委員会 (資料—30.5.8, pp.33-34)
    - ① 経産省受託WG 2018年度構成  
・TC190国内専門委員会 ISO/TC190/SC3WG10運営WG 2018年度構成 \*4/13メール審議済み  
・TC182国内専門委員会  
広域における地盤工学特性の評価手法に関するWG 2018年度構成 \*4/13メール審議済み
    - ② ISO国内委員会・国内専門委員会 2018年度構成 (資料—30.5.9, pp.35-39)

浅田部員より、資料に基づき2018年度の委員会構成案について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。なお、p.38の平田先生の所属については再確認することになった。  
・退任: 今村 聡(大成建設)、田澤 龍三(土壌環境センター)、藤原 靖(地層科学研究所)  
石川 洋二(大林組)
  - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会 (資料—30.5.10, pp.40-41)
    - ① 2018年度構成

仙頭部長より、資料に基づき 2018 年度の委員会構成案について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

(5) 表記法委員会

① 2018 年度構成

(資料—30.5.11, p.42)

伊貝部員より、資料に基づき 2018 年度の委員会構成案について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

退任: 杉本 隆 (日本工営)

(6) 技能試験実施委員会

① 2018 年度構成

(資料—30.5.12 p.43)

藤原部員より、資料に基づき 2018 年度の委員会構成案について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

特になし

(8) 部員の異動・交代

仙頭部長より、職場の異動で宗像部員から佐野部員に交代することが提案され、審議の結果、原案通り承認された。承認後、佐野新部員による挨拶があった。

交代: 宗像 保男 (経産省 JISC) → 佐野 浩一 (経産省 JISC)

4. ISO 国内委員会 関係

特になし

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

【前回から継続審議】

【理事会報告】 (1) 新規基準案「軟岩の変形特性を求めるための繰返し三軸試験方法 (案)」 (資料—30.13, pp.44-73)

仙頭部長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

【理事会報告】 (2) 新規基準案「岩石の供試体の作製方法 (案)」

(資料—30.14, pp.74-81)

仙頭部長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

【理事会審議】 (3) JIS 規格改正素案 (1217, 1218, 1227) への意見に対する検討結果の報告 (資料—30.5.28, p. 171)

藤原部員より、資料に基づき  $C_v$  の単位以外は問題が無かったとの説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

【理事会審議】 (4) JIS 規格改正素案 (1217, 1218, 1227)

(資料—30-30, pp.172-207)

藤原部員より、資料に基づきフィルターの呼称の統一、有効数字の丸め方等の若干の修正を行ったこと等について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

【理事会報告】 (1) 「スウェーデン式サウンディング試験方法 JIS 改正 WG」設立

(資料—30.15, p.82)

武政部員より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

(2) 地下水面上の地盤を対象とした透水試験方法の英訳

(資料—30.16, pp.83-113)

武政部員より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、ネイティブチェックを TD プランナーに依頼するため早急に見積もりを取ることで、費用は基準部負担とすることになった。

これまでは新規基準を作成したらその英訳が義務付けられていたが、今後は、各 WG において新基準を作成した英訳の品質を担保するためのネイティブチェックにかかる費用負担も含めて内規を基準部において検討することになった。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

(1) 【前回から継続】杭の鉛直載荷試験基準の改訂WG趣意書、WG 構成案

(資料—30.17, pp.114-116)

仙頭部長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

【理事会報告】 (1) 英訳事業の振り返りと今後について

(資料—30.5.18, pp.117-120)

仙頭部長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

(2) 基準英訳本 英語版 HP について

(資料—30.5.19, pp.121-137)

仙頭部長より、資料に基づき説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

11. 基準部所管刊行物

特になし

12. その他

特になし

報告事項

1. 理事会 (2018/3/16) 開催報告

(資料—30.5.20, pp.138-141)

仙頭部長より、資料に基づき基準部関連事項の報告がなされた。

2. 全体関係

特になし

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

・経産省受託事業 成果・実績報告 (TC190/SC3/WG10 運営 WG) (資料—30.5.21, pp. 144-149)

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。

・経産省事業、防災科研受託事業 成果・実績報告 (広域地盤特性 WG) (資料—30.5.22, pp.150-154)

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。

・2017 年度実績

浅田部員より、下表に基づき報告がなされた。

(相手先)	(金額)	
	助成	受託
・三菱総合研究所/経産省 (TC182 広域地盤モデル WG)	-	※230 万円
・三菱総合研究所/経産省 (TC190/SC3/WG10 運営 WG)	-	760 万円
小計	-	990 万円
合計		990 万円

※防災科研と共同提案。防災科研分 約 538 万円、JGS 分 約 457 万円。

→10 月に予定していた国際会議の中止などによる減額申請を行い、JGS 分 約 380 万円

→完了後、計上額は、約 230 万円

② 平成 30 年度 (2018 年度) 受託事業

・TC190SC3WG10 運営 WG「広域における地盤工学特性の評価手法に関する国際標準化」成果報告書提出 (資料—30.5.23, p.155-165)

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。

・広域地盤特性 WG「広域における地盤工学特性の評価手法に関する国際標準化」内示

防災科研と共同で 850 万円の内示、地盤工学会分は約 350 万円の見込

浅田部員より、資料に基づき報告がなされた。

なお、仙頭基準部長より受託事業において、当初予算にある学会事務局の管理費を確保するように支出の管理を徹底するように要請があった。それに関連して、国際会議派遣旅費の支出の適正化のために、総務部が現在、学会規程を見直しているとの報告が事務局よりなされた。

(2) 地盤工学表記法委員会

① ご質問に対する回答 (SI 単位の表記)

(資料—30.5.24,p.166)

伊貝部員より、資料に基づき報告がなされた。

(3) 室内試験規格・基準委員会

特になし

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 基準への質問・回答

(資料—30.5.25, pp.167-168)

武政部員より、資料に基づき報告がなされた。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

① 技能試験委員会・幹事会(4/9)の開催報告

(資料—30.5.26, p.169)

藤原部員より、資料に基づき報告がなされた。

② 技能試験報告書 (PDF) の学会・基準部 HP への掲載について

(資料—30.5.27, p.170)

藤原部員より、資料に基づき報告がなされた。

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

特になし

(8) ウェブページ

特になし

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

特になし

5. 審議中の規格・基準

峯岸幹事より、各基準の進捗状況について下記表により報告がなされた。

基準名	担当		承認 (提出)				検討		刊行
	委員 会	WG	部会	理事会 [報告]	公示	部会 (公示 後案)	理 事 会	結果	
								一 覧 *	

過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法	室内	4			2015 11・12月号		2016 3/15	2016 5月号	2017年12 月**
地下水面上の地盤を対象とした透水試験方法基準	調査	10	2015 11/5	2015 11/24	2016 2月号	2017 11/6	2017 11/24	2018 2月号	
水圧破砕法による初期地圧の測定方法	調査	3	2016 1/7	2016 1/26	2016 4月号	2017 11/6	2017 11/24	2018 2月号	
低透水材料の透水試験方法	室内	9	2017 11/6		2018 1月号				
[改正]岩石の弾性波速度計測方法 (旧: JGS 2110-2009 パルス～)	室内	4	2018/ 3/6						
軟岩の変形特性を求めるための繰返し三軸試験方法	室内	4	2018/ 4/20						
岩石の供試体の作製方法	室内	4	2018/ 4/20						
JIS 規格素案 (改正 7 件) 1202-1204,1216,1225,1226	室内	1	2017/ 7/4	2017/ 7/28	2017 10月号	2018/ 3/6	2018/ 3/16	2018 6月号	赤本 2019 予定
JIS 規格素案 (改正 7 件) 1201,1205,1209,1223,1224,1210,1211, 1228	室内		2017 /9/7	2017/ 9/29	2017 11・12月号	2018/ 3/6	2018/ 3/16	2018 6月号	赤本 2019 予定
JIS 規格素案 (改正 3 件) 1217, 1218, 1227	室内	3	2017 11/6	2017/ 11/24	2018 1月号	2018/4 /20			赤本 2019 予定

\*地盤工学会ウェブサイト「基準一覧」への掲載 \*\*小冊子での刊行

## 6. 日本工業規格 (JIS)

伊貝部員より、各基準の進捗状況について下記表により報告がなされた。

規格名	委員会	WG	JS A 公 募	JSA 提 出	CSBとし ての意見 募集	申出完 了連絡	WTO/ TBT 公告	土木技術 専門委員会	刊 行
地盤工学用語 JIS A	表記 法	-	○		-	2017 9/1		2018 3/2	
動的コーン貫入試験 方法 JIS A	調査	11	○		-	2017 9/1		2018 3/2	
ジオシンセティック ス用語 JIS A	室内	6	○		2017/4/2 から 5/1				

## 7. 部会・委員会・WG 開催状況

峯岸幹事より、部会、各 WG、委員会等の開催状況について下記表により報告がなされた。

委員会・WG 数: 常設委員会 6、常設委員会の WG:33 (内、受託:2)、JSA 公募原案作成:3、その他:1 計: 43

委員会名	長	委員会開催日、 <u>下線</u> は開催予定	
基準部会	仙頭 紀明	1 4/20	5
ISO 国内委員会	浅田 素之		1
・WG1: TC182 国内専門委員会	木幡 行宏	-	-
・・広域地盤特性評価法 WG [受託]	宮田 喜壽	.	1
・WG2: TC190 国内専門委員会	川端 淳一	.	1
・・TC190/SC3/WG10 対応 WG [受託]	坂井 宏行	.	7
・WG3: TC221 国内専門委員会	椋木 俊文	-	-
室内試験規格・基準委員会/JIS 原案作成委員会本委員会	豊田 浩史	-	-
・WG1 物理特性/JIS 原案作成委員会分科会	杉井 俊夫	1 4/17	1
・WG2 化学特性/JIS 原案作成委員会分科会	肴倉 宏史	.	3
・WG3 透水・圧密特性/JIS 原案作成委員会分科会	渡部 要一	.	1
・WG4 力学特性/JIS 原案作成委員会分科会	澁谷 啓	.	3
・WG5 安定化・締固め特性/JIS 原案作成委員会分科会	横田 聖哉	.	3
・WG6 ジオシンセティックス	木幡 行宏	.	1
・JIS 原案作成委員会 (ジオシンセティックス用語)	木幡 行宏	1 6/1*, *は本委員会	3
・WG7 特殊土の試験	風間 基樹		

・WG8 赤本改訂版の総説執筆	豊田 浩史		
・WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化	西垣 誠		
・WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂	大島 昭彦		
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	.	1
・WG1 物理探査・検層	斎藤 秀樹	.	1
・WG2 ボーリング・サンプリング	正垣 孝晴	.	
・WG3 地下水	進士 喜英	.	3
・WG4 サウンディング	大島 昭彦	.	
・WG5 載荷試験	大島 昭彦	.	
・WG6 現場密度試験	三嶋 信雄	.	
・WG7 現地計測	上野 将司	.	
・WG8 環境化学分析のためのサンプリング	江種 伸之	.	
・WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査	長田 昌彦	.	
・WG11 動的コーン貫入試験方法 JIS 規格化 WG	大島 昭彦	-	-
・JIS 原案作成委員会 (動的コーン貫入試験方法)	末政 直晃	.	2
・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG	伊藤 高敏	.	3
・WG15 岩盤の原位置一軸・三軸試験方法基準化検討 WG	谷 和夫	.	1
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏		
・WG1 土構造物	本城 勇介		
・WG2 杭の水平載荷試験	中井 正一		
・WG3 グラウンドアンカー	山田 浩		
・WG4 サンドコンパクションパイル工法	寺師 昌明		
・WG5 地山補強土	龍岡 文夫		
・WG6 杭の鉛直載荷試験方法の改定検討	菊池 喜昭	.	3
地盤工学表記法委員会	大島 昭彦		
・JIS 原案作成委員会 (地盤工学表記法)	大島 昭彦	.	
技能試験実施委員会	日置 和昭		3
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	.	2

## 7. その他

(1) 理事会 (6月 日 (水) 書面、7月20日 (金) ) への審議事項・報告事項  
 ・審議 3.委員等の異動、報告: JIS規格改正素案・地盤工学会基準の公示報告

(2) 総務部会 (2018年6月1日 (金) 開催予定) への提案事項

(3) 次回以降の部会開催日

・平成30年度(2018年度)第2回:第1案 平成30年[2018年]7月3日(火)14:00~17:00【新旧合同】  
 (対応理事会 5月18日(金) or 書面6月 日)

★ 2018年度(平成30年度) 理事会 開催日程 (予定含む)

1. 4月20日(金) ※書面審議
2. 5月18日(金)
3. 6月6日(水) 総会/理事会
4. 6月 日 ( ) ※書面審議
5. 7月20日 ( )
6. 8月
7. 9月
8. 10月
9. 11月
10. 12月
11. 1月
12. 2月
13. 3月

- 
1. 4月
  - 2.